

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2006

夏号

VOL.25

平成18年7月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>
otoiawase@yumebutai.org

淡路から 世界へ 情報発信！

今夏も多彩な会議が
開催されます。

風ひかり
白亜に染まる

夏岬

真弘

写真上——江崎灯台（淡路市）
写真下——育波港（淡路市）
撮影 松林 真弘



開催に寄せて

第6回国際新生児スクリーニング学会

16-19 Sep. 2006

新生児スクリーニングは、新生児(生後28日までの子ども)の血液の中に含まれるアミノ酸、糖、ホルモンなどの物質を検査することによって子どもの病気を早く発見し、治療して知的障害などの発生を予防することを目的とします。また、新生児の聴力を検査して難聴を見つけ、早期治療によって難聴を予防する新生児聴力スクリーニングも行われます。これらの新生児スクリーニングは、世界各国で行われて子どもの健やかな発育に大きな貢献をしています。

国際新生児スクリーニング学会は、この新生児スクリーニングを推進するために、世界の小児科医、産科医、検査技師、行政関係者、研究者、公衆衛生関係者などが集まって組織され、3年ごとに開催されています。今回は、「ポストゲノム時代の新生児スクリーニング」を主題にして新生児スクリーニングの特別講演や先端領域の研究発表があり、国内、国外(約60カ国)から約300名の参加が予想されています。

わが国の新生児スクリーニングで発見され、現在、オーストリアで幼児音楽教育を学んでいる日本人女子大学院生の体験談は参加者に大きなインパクトを与えることでしょう。



徳島大学
副学長

黒田 泰弘

2006年7月～11月開催予定の主な会議一覧

会議名	主なお問い合わせ先
7月	
日米教育セミナー	兵庫県国際政策課
特定領域研究「細胞の運命と挙動を支配する細胞外環境のダイナミズム」平成18年度班会議	大阪大学蛋白質研究所
神戸大学大学院医学系第4回COE研究討論会	神戸大学附属病院第2内科
第36回日本皮膚アレルギー学会総会・第31回日本接触皮膚炎学会総会合同学術大会	大阪大学医学部皮膚科学教室
神戸大学・日本郵船・ハielルダール記念事業・寄附講義「海産産業社会事情」合宿研修	神戸大学海事科学部
第8回RNAミーティング	徳島大学ゲノム機能研究センター
第6回肩と肘を語る会・肩関節鏡セミナー in 淡路	特定医療法人慈恵会新須磨病院整形外科
9th International Conference on Limb Development and Regeneration	徳島大学大学院ノリオテクノサイエンス研究部
8月	
第7回アジア太平洋フォーラム・淡路会議	(財)兵庫県国際交流協会
IUPAC-ICPC	福山大学生命工学部応用生物科学科
第9回子どもの心と教育研究会	姫路市立白浜小学校
酒井式レベラアップ講座in淡路	TOSS淡路キソツキ
第3回アジア災害看護フォーラム	兵庫県立大学地域ケア開発研究所
第14回日韓フォーラム	(財)日本国際交流センター
9月	
The 7th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging	神戸大学医学部放射線医学教室
第6回 あわじしま感染症・免疫フォーラム	東京大学医科学研究所
第9回癌と骨病変研究会	癌と骨病変研究会
国連大学グローバルセミナー2006	(財)神戸国際協力交流センター
第3回伴一孝ドリーム講座 in 淡路	TOSS淡路キソツキ
バイオCOEサマーカーン2006	奈良先端科学技術大学院大学
特定領域研究「性分化機構の解明」第三回領域会議	基礎生物学研究所性産生物学研究部門
京都大学全学教育シンポジウム	京都大学高等教育開発推進機構
第6回国際新生児スクリーニング学会	徳島大学医学部小児医学
10月	
第5回バルク金属ガラス国際会議 (BMG-V)	京都大学大学院工学研究科材料工学専攻
兵庫県商工会連合会青年部連合会幹部講習会	兵庫県商工会連合会
Gratama Workshop 2006	大阪大学大学院理学研究科
特定領域「イオン液体の科学」第1班班会議	京都大学国際融合創造センター
奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科研修(仮称)	奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科
11月	
第3回Japan-Korea Liver ミーティング	近畿大学医学部消化器内科
細胞ネットワークシンポジウム(仮称)	大阪大学生命機能研究科
Law Firm Mauaging Partners Conference in Japan	神戸大学法学部
独立行政法人科学技術振興機構さきがけ研究「構造機能と計測分析」	独立行政法人科学技術振興機構
ITあわじ会議	兵庫県
兵庫県食品衛生責任者養成講習会	社団法人兵庫県食品衛生協会

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

第5回バルク金属ガラス国際会議 (BMG-V)

1-5 Oct. 2006

2006年10月1日～5日に、第5回バルク金属ガラス国際会議(BMG-V) (議長:東北大学教授井上明久、阪大教授弘津禎彦、テネシー大学教授T.G.Nieh)が開催されます。金属ガラスは、90年代初めに東北大学金属材料研究所の井上らが見出した金属元素のみ、あるいは金属元素を主要な成分とするガラスです。リボン状や粉体などの形状に限られていた従来型アモルファス金属と異なり、棒状や板状のバルクアモルファスを作製できます。さらに、ガラス構造に特徴的な物性に加え、構成金属元素に起因する新規な特性が発見され、さまざまな応用が研究されています。例えば、超高強度材料、超弾性伸び材料、超ソフト磁性材料、低減衰音響材料などの機能材料、過冷却液体領域でのニュートン粘性を利用したナノ加工、ナノ転写、ナノ細線、ナノボールなどの加工技術、大過冷却液体からの結晶化を利用したナノ組織高機能材料などです。今回の会議では、国内外からの30名余りの招待講演者を含む100件以上の講演とポスター発表を予定しています。これによりバルク金属ガラスの総合的な基礎と応用の研究成果を集約し、「金属ガラスの材料科学」という新しい学問領域の確立と新金属材料としての発展に大きく寄与したいと考えています。



東北大学副学長
金属材料研究所長

井上 明久



大阪大学
産業科学研究所教授

弘津 禎彦

淡路島の夏の味覚 鰯(ハモ)

●ハモってどんな魚？

関西を代表する夏の味覚ハモ。ウナギ目ハモ科の回遊魚で、春になると外海から淡路島沿岸に引越してきて、産卵(7月～9月)に向い活発に餌を求めて動き回り、体に栄養を蓄えます。「梅雨の水を飲んで育つ」と言われるこの時期のハモは、身は太り脂がのってひととき美味しさを増します。白身で淡泊、ほどよい脂がのったハモは調理の幅が広く多彩な味を愉しむ事ができます。栄養価が高く、肌の老化防止に効果のあるコンドロイチンやビタミンAを豊富に含む美容食でもあります。

ハモ料理を有名にしたのが京都。まだ交通手段が発達していなかった頃、夏の炎天下に京都まで活きたまま運ぶことのできる魚はほとんどありませんでした。生命力の強いハモだけは京都についても生きていたため、ハモ料理の文化が発達していったそうです。祇園祭は別名「ハモ祭り」と呼ばれ、大阪の天神祭にもハモ料理は欠かせません。淡路島近海で水揚げされるハモは京阪神地域の市場や料亭で最高級の評価を受ける食材です。

●なぜ淡路島のハモは評価されるのでしょうか？

ハモが住処にしている海底の泥質に影響されています。主な漁場である淡路島南部や沼島地方はその地形から潮流が早いため海底の水の流れに濁みがなく、いつも新鮮な海水が供給されています。また、餌となる甲殻類や魚が豊富で美味。そんな環境が最高のハモを育てています。

●ハモ料理にはどんな料理があるの？

小骨が多いのが特徴で、まず「骨切り」という小骨の処理

をします。1寸(約3センチ)の間に20～25の包丁を入れ、皮は切らず身だけを切るこの技術は「骨切り10年」と言われるほど高度な職人技。この包丁技が極上の味と食感を生み出します。

ハモすき鍋・・・ハモが美味しくなる同じ時期に収穫が始まる淡路産の新玉ねぎとハモを割り下と一緒に煮こむハモすき鍋は、淡路島地方で古くから受け継がれてきた郷土料理。

玉ねぎとハモのアラから炊き始め、玉ねぎの甘味と骨の旨みが十分にだし汁へ移った頃にハモの身を入れ、熟練の腕で骨切りされた身に熱が通り、牡丹の花のようにぱっと開いたところをいただきます。口の中でホロリとほぐれるほくほくの食感。ハモの持つ上品でほのかな甘味が玉ねぎの甘みに一層引き立てられ、何とも言えない美味しさです。

湯引き・・・沸騰したお湯にさっとぐららせて、身が花ひらいたところをすぐに氷水に浸けて引き締めることでハモが持つ独特の旨みを味わうことができます。柔らかな身と共に皮の食感が何とも美味。脂ののった上質な身は梅肉の爽やかな香りと抜群の相性です。

その他に、薄造り、天麩羅、酢の物、ハモ寿司、ハモの子の卵とじなどの料理があり、どれも美味。ハモ料理は、ウェスティンホテル淡路内、日本料理「はなの」でもご賞味いただけます。ここ淡路島でしか味わえない旬の味わいをぜひお試しください。



開催を終えて

阪大フロンティア研究機構 研究プロジェクト2002-2005 「環境低負荷型ユーティリティシステムの創生」

最終報告会及び関連国際シンポジウム

28-29 Mar. 2006

科学技術振興調整費により支援を受けた阪大フロンティア研究機構の下で実施した研究プロジェクト「環境低負荷型ユーティリティシステムの創生」が4年間の研究期間を終えましたので、研究成果報告会を開催しました。同時に、国内外の代表的な研究者を招聘して、小規模ですが国際シンポジウムも併催しました。民生部門からのCO₂排出を如何に減らせるかということが主題ですが、私たちの研究では、住宅のエネルギー需要を1年以上という長期間にわたって自動計測し、得られたデータに基づいて、地域の電力・エネルギー供給システムの望ましい姿や具体的なCO₂排出削減の方策を議論しています。国際シンポジウムでは、国内外の計測プロジェクトの紹介、および需要家に近いところの電力システムとして最近注目を集めているマイクログリッドに関する研究の現状の紹介をしていただきました。参加者は約90名でしたが、情報量の多い有意義な会合となりました。夢舞台国際会議場は宿泊等も完備しており、招聘した外国の研究者からは大変喜ばれました。とくに2日目に唐突にアレンジをお願いした茶室でのランチタイムは好評でした。会議場のスタッフの方々のご支援に感謝します。



2006年4月～6月に開催された主な会議



Osamu Nakamura Conference (4月)



Toastmasters International 2006 (5月)



第20回国際生化学・分子生物学会議
サテライトシンポジウム「グライコマトリックス国際会議」(6月)



第4回消化器内視鏡看護セミナー(6月)



International Symposium on "Medical and Biological Perspectives in Proteases and Their Inhibitors" (6月)

第8回国際有機反応化学シンポジウム

23-26 Apr. 2006

本国際シンポジウムでは有機反応化学を基盤として、主として7つの分野(有機合成化学、有機電子移動化学、天然物化学、有機金属化学、高分子及び超分子化学、生物有機化学及び医薬品化学、有機材料化学)との関連で最新の研究成果に関する発表討論を行った。基調講演8件を含む80件の招待・口頭発表および112件のポスター発表がなされた。口頭による発表では多くの聴衆が参加し、活発な議論が行われた。ポスター発表では短時間の口頭による発表の機会を与えらるとともに、ポスター賞を設定し活性化を図った。参加者は予想を大きく越え約280名になった。台湾からの多くの参加者に加え、欧米、中国、韓国からの講演者を交えて、華やかな国際シンポジウムであった。夢舞台で開催したため、良い環境のもとシンポジウムがより充実したものになったのは喜ばしいことであった。学生の参加者も多く、幅広い世代の研究者での交流に大いに貢献した。本シンポジウムは、日本と台湾の研究交流に端を発し、交互に開催することにより、研究の活性化と研究交流の活発化を図ってきた。これらの実績により、発表研究レベルは高度になり、有機反応化学における重要な国際シンポジウム



共同組織委員長
長岡技術科学大学教授

西口 郁三



大阪大学大学院
工学研究科教授

平尾 俊一

になったと考えられる。夢舞台とホテルのスタッフの方々にはいろいろサポートしていただき、心より感謝申し上げます。

第12回レチナールタンパク質国際会議

4-8 Jun. 2006

レチナールタンパク質は私たちの網膜の感光色素として発見され、今やヒトからバクテリアに至る多くの生物の光受容体として注目されています。タンパク質部分の構造は、最も重要な受容体であるGタンパク質共役受容体と同じであり、創薬の分野から関心が高まっています。このようなテーマで開かれた「第12回レチナールタンパク質国際会議」は1984年第1回会議がドイツで開かれ、その後2年ごとに各国で開かれてきました。私共が2002年「第1回アジア光生物会議」を夢舞台国際会議場で開催し、その時の会議場とホテルのすばらしさと質の高さから、本会議の世話を任された時、躊躇なく夢舞台国際会議場を会場として再び選びました。本会議は世界17カ国から207名の参加があり、会議場のスタッフに「本会議場で私が担当した国際会議でもっとも海外からの参加者が多い会議」と言われました。これは海外からの招待講演者だけでなく、経済的に困難な国の多くの若手研究者に旅費を補助したことによると思います。本会議が終了してすぐに内外の参加者からお礼のメールが殺到していますが、いずれも夢舞台国際会議場での会議が今まで参加したどの国際会議よりもすばらしかったと述べております。200～300名



程度の国際会議を開催する上では日本だけでなく世界で最も優れた会場の一つであることは間違いありません。

世界から、日本から、快適アクセス

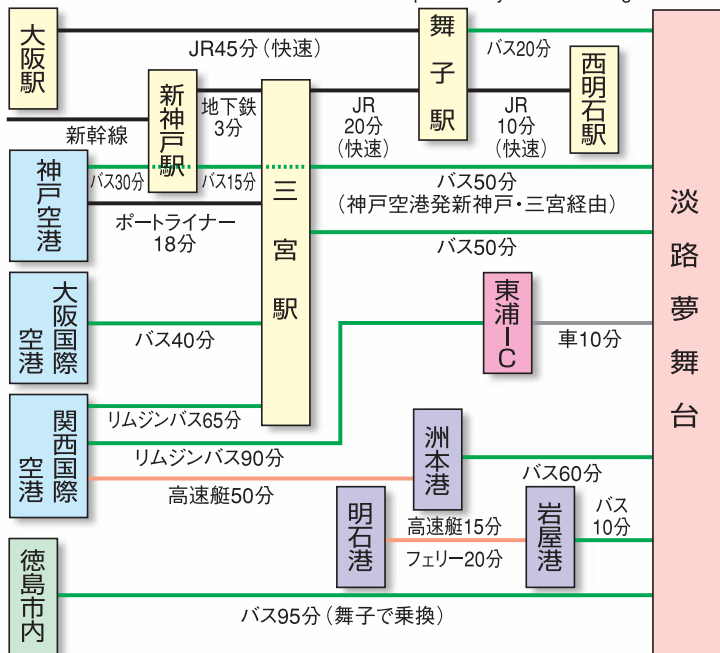
明石海峡大橋を経由し、車で大阪から60分、神戸から30分
(淡路I.C.、東浦I.C.から車で5分)

交通アクセス



公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
<http://www.yumebutai.org>



地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」 地元中学生が会議準備にトライ!

5月半ば、地元東浦中学2年生3名が「トライやる・ウィーク」で淡路夢舞台を訪れました。「トライやる・ウィーク」とは、学習の場を地域に移し、様々な体験活動や地域の人々とのふれあいを通じて生徒の心を育てようと、兵庫県下一斉に実施するもの。国際会議場では、レイアウト変更や音響・映像機材の設置準備、部屋前表示の作成などを体験してもらいました。「机や椅子を並べるのは教室でもやっているけど、普段触れることのない音響設備やプロジェクターの準備するのはドキドキした」と、素直な感想を述べてくれました。



お薦めスポット

江崎灯台

表紙写真の「江崎灯台」は、淡路島の北端、海拔48.5mの明石海峡を望む高台にあります。明治4年(1871年)、イギリス人技師リチャード・ヘンリー・ブライトン氏によって設計され、洋式灯台としては日本で8番目に建設されました。灯台周辺は展望広場となっており、明石海峡大橋のパノラマを楽しむことができます。阪神・淡路大震災で、亀裂が入るなどの被害を受けましたが、御影石で造られた頑丈なボディは倒壊をまぬがれ、外観からは分からないよう修復されています。白亜の灯台は、初点灯当初と変わらない美しい姿で、船の行き交う明石海峡を見守っています。



ご利用料金(税込)

会議室名称	面積(m ²)	利用料金(円)		
		9時～12時	13時～17時	9時～17時
メインホール	580	90,000	120,000	209,000
イベントホール	481	75,000	100,000	174,000
アンフィシアター	275	45,000	60,000	105,000
ホール	A	127	22,000	30,000
	B	258	44,000	58,000
会議室	311	179	15,000	20,000
	301	173	15,000	20,000
	405	91	8,000	11,000
茶室	A	90	18,000	24,000
	B	10	3,000	5,000
合計(全館利用)		407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9～17時)からご用意しております。

ご利用にお得な制度

(財)兵庫県国際交流協会の国際会議開催助成金
(財)中内力コンベンション振興財団の助成金
「ウェスティンホテル淡路」ご利用時のコンファレンスレート
詳しくはお問い合わせ下さい。

淡路夢舞台国際会議場 TEL:0799-74-1020

New Face

4月に着任致しました。毎日、明石海峡大橋を渡って通勤しています。波間に漂ういかなる漁の漁船、瀬戸内海に沈む夕陽など、いつ見ても海峡の景観には息を呑むものがあります。

神戸の中心、三宮からバスで50分という良好なアクセス、そして恵まれた自然環境の中で、皆様にご満足いただける会議の場をご提供するのが私たちの使命と考えています。どうぞよろしくお願い致します。



副館長 田中 裕

あとがき

国際会議場の3階にある討議室304・305は、壁の一面が全面ガラス窓の小会議室です。燦々と陽が差し込み、青く澄んだ空と大阪湾の眺めが素晴らしいことから利用頻度が高く、私たちもお薦めすることが多い部屋なのですが、難点が一つ…。遮光設備がなく、昼間は部屋を暗くすることが出来ないため、映像機材を使えないのです。お客様が気に入っている部屋をご利用いただけないことは私たち職員にとっても残念なこと。そこで、ご要望にお応えすべく、このほど遮光カーテンを設置しました。このように、皆様のお声をもとにコツコツと改善を重ね、日々より良い会議環境作りに努めております。国際会議場をご利用いただいた方にはアンケートの記入をお願いしておりますので、ご協力をお願い致します。目に映る景色の鮮やかなコントラストが美しい常夏の淡路島で、皆様のお越しを心よりお待ちしております。(為後順子)